

令和7年度私立高校新入生の保護者を対象とした 高校選択満足度調査の結果について

令和8年3月
大阪府教育庁私学課

大阪府では、子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障することを目的に、平成23年度の新1年生から、私立高校の授業料無償化制度（私立高等学校等授業料支援補助金）を実施しています。

この無償化制度の効果検証の一環として、令和7年4月に入学した私立高校生の保護者を対象に、高校選択に関する満足度調査を令和8年1月から2月に実施しました。

本調査は、平成23年度以降の新入生に対し、毎年度実施しており、今年度で15回目の実施となります。

【調査結果の概要】

○ 入学した私立高校を選んだ理由は、「施設設備が充実していること」が74.3%で、最も多かった。

入学した私立高校を選んだ理由について、理由となったという肯定的な意見としては、「施設設備が充実していること（74.3%）」（R6:73.2%、R5:71.8%）が最も多くなっている。次いで、「基礎学力が身につく教育を行っていること（72.9%）」（R6:71.8%、R5:72.1%）が多い意見となっている。

○ 在籍校に対する満足度は、「学校生活全体を通して満足している」という肯定的な意見が90.7%であった。

在籍校に対する満足度は、「特色ある教育活動」、「学校行事」、「（学校からの）情報提供」、「進路指導面」、「学習指導面」、「施設・設備面」、「教員」、「生徒指導面」に関して満足しているという肯定的な意見が8割を超えた。「学校生活全体を通して」では、90.7%（R6:87.3%、R5:86.9%）が肯定的な意見であった。

○ 「授業料無償化制度が、私立高校への進学に影響した」とする割合は、全体で78.2%であった。

授業料無償化制度が、私立高校への進学に「大いに影響した」又は「ある程度影響した」を選択した割合は、世帯の年収で区分して見ると、年収590万円未満世帯では86.5%（R6:91.0%、R5:92.3%）、年収590～800万円未満世帯では82.0%（R6:84.0%、R5:78.6%）、年収910万円以上世帯では64.5%（R6:61.7%）であった。

【満足度調査の対象及び実施方法について】

1 対象

令和7年4月に府内の全日制私立高校（93校）に入学した高校1年生の保護者

2 実施方法

令和8年1月から2月までに7,551人（R6:7,541人、R5:3,764人）の保護者から回答を得た。

問1 入学された私立高校を選ばれた理由についてお聞きます。

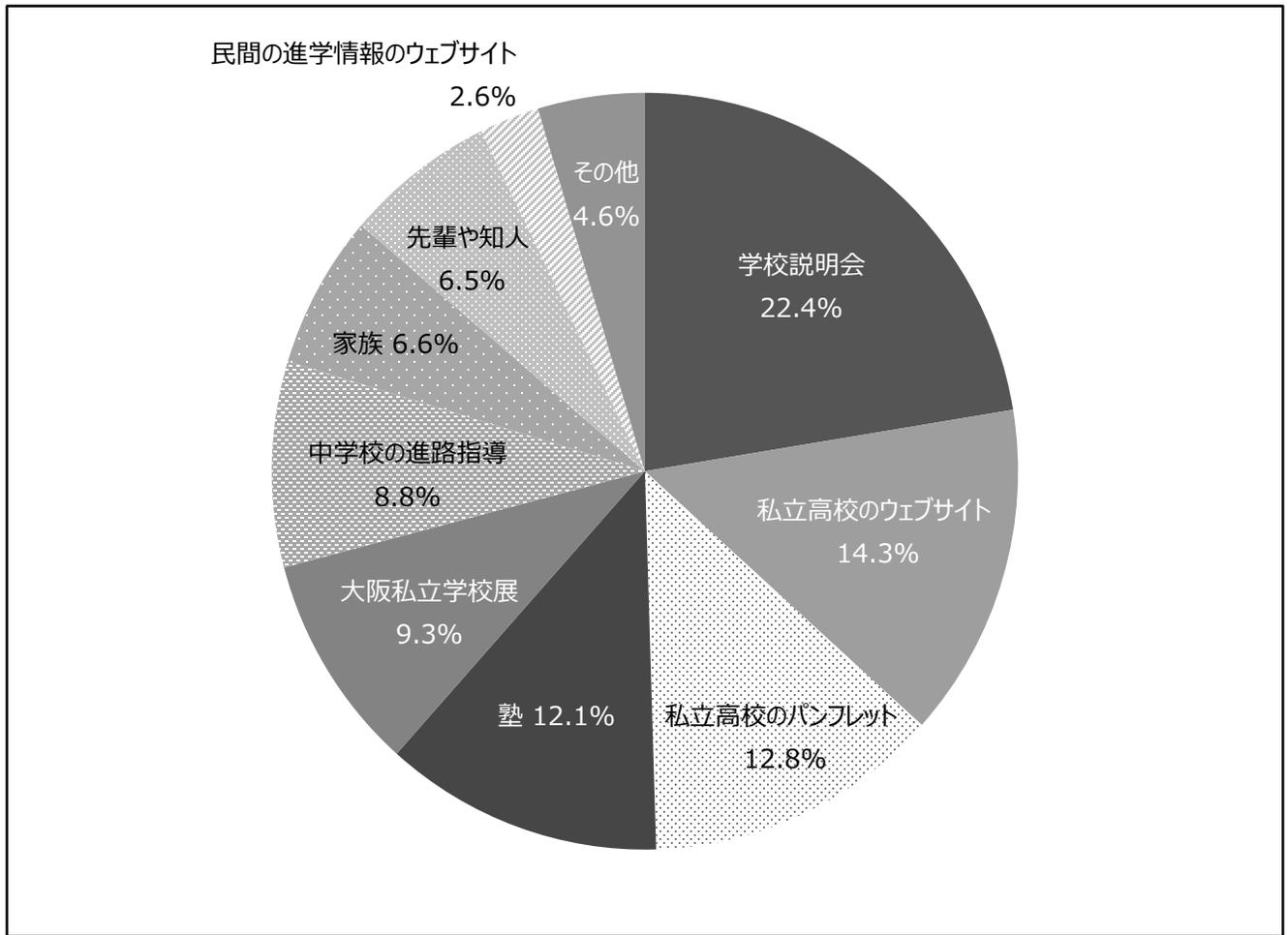


○ 入学した私立高校を選んだ理由は、「施設設備が充実していること」が74.3%と最も多い。

※令和6年度調査：「進学(就職)に実績があること（74.1%）」が最も多かった。

- 入学した私立高校を選んだ理由について項目を示して聞いたところ、「決定的な理由になった」と「ある程度理由になった」を合わせた肯定的な意見としては、「施設設備が充実していること（74.3%）」（R6:73.2%、R5:71.8%）が最も多く、次いで、「基礎学力が身につく教育を行っていること（72.9%）」（R6:71.8%、R5:72.1%）であった。
- 「あまり理由にならなかった」と「まったく理由にならなかった」を合わせた否定的な意見としては、「宗教教育が受けられること（94.5%）」（R6:93.9%、R5:94.7%）が最も多く、次いで「男女別学（男子校または女子校）であること（87.2%）」（R6:85.7%、R5:86.9%）であった。

問2 私立高校の情報はどのようにして、あるいは、どなたから入手していましたか。(複数回答可)



○ 私立高校の情報は、「学校説明会」で入手しているとした割合が最も多く 22.4%となっている。

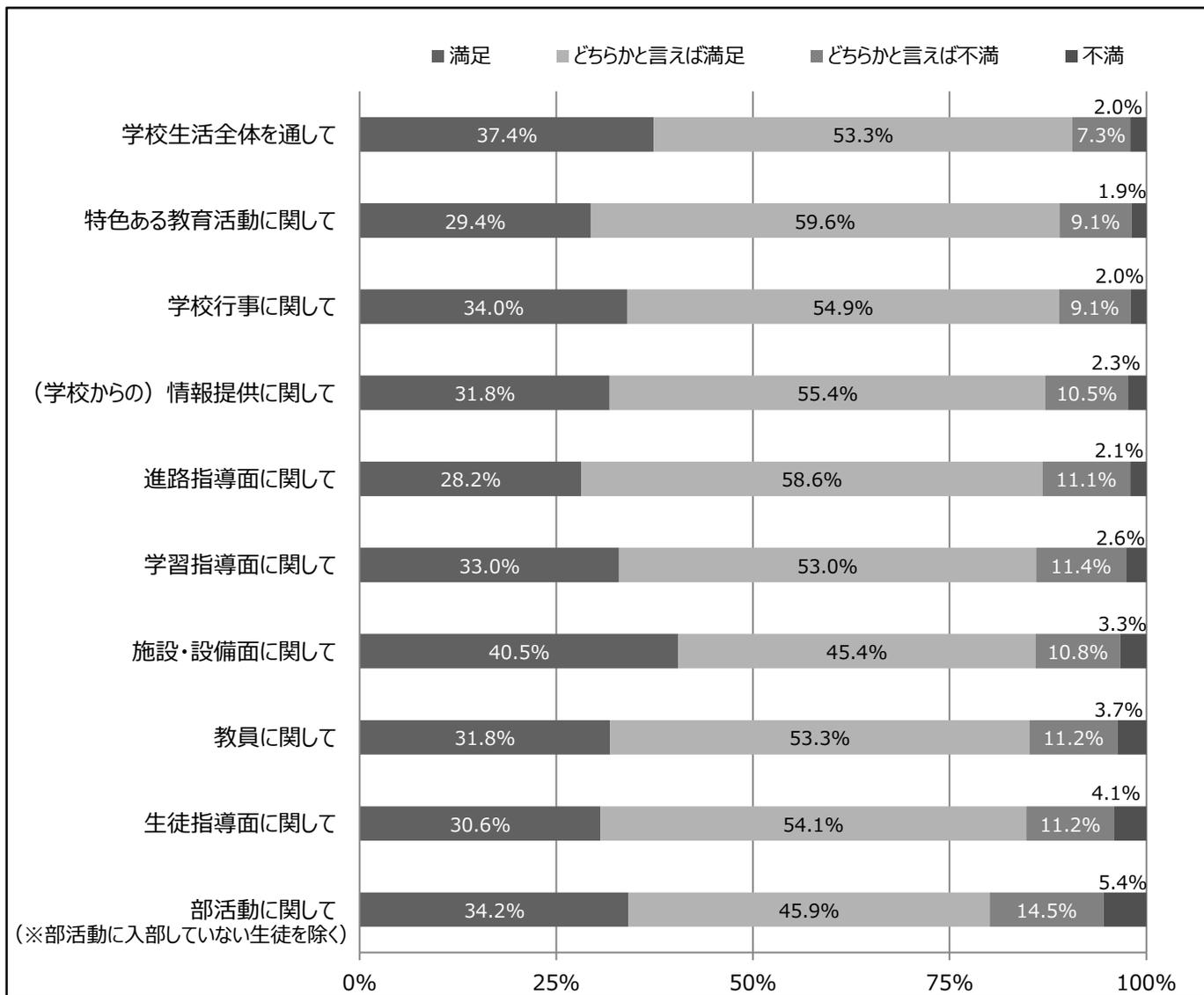
・ 私立高校の情報の入手方法について聞いたところ、

「学校説明会 (22.4%)」(R6:22.5%、R5:22.0%) の割合が最も多く、
次いで「私立高校のウェブサイト (14.3%)」(R6:17.0%、R5:16.9%)、
「私立高校のパンフレット (12.8%)」(R6:12.7%、R5:13.7%)、
「塾 (12.1%)」(R6:11.1%、R5:12.3%) の順で多く、
6割以上の方がこれらのうちいずれかの方法により、私立高校の情報を入手しているという結果となった。

・ また、ほかの方法として、「大阪私立学校展 (9.3%)」(R6:8.8%、R5:7.6%) や

「中学校の進路指導 (8.8%)」(R6:8.5%、R5:8.6%)、「家族 (6.6%)」(R6:5.7%、R5:6.3%) 等も
少数ながら選択されている。

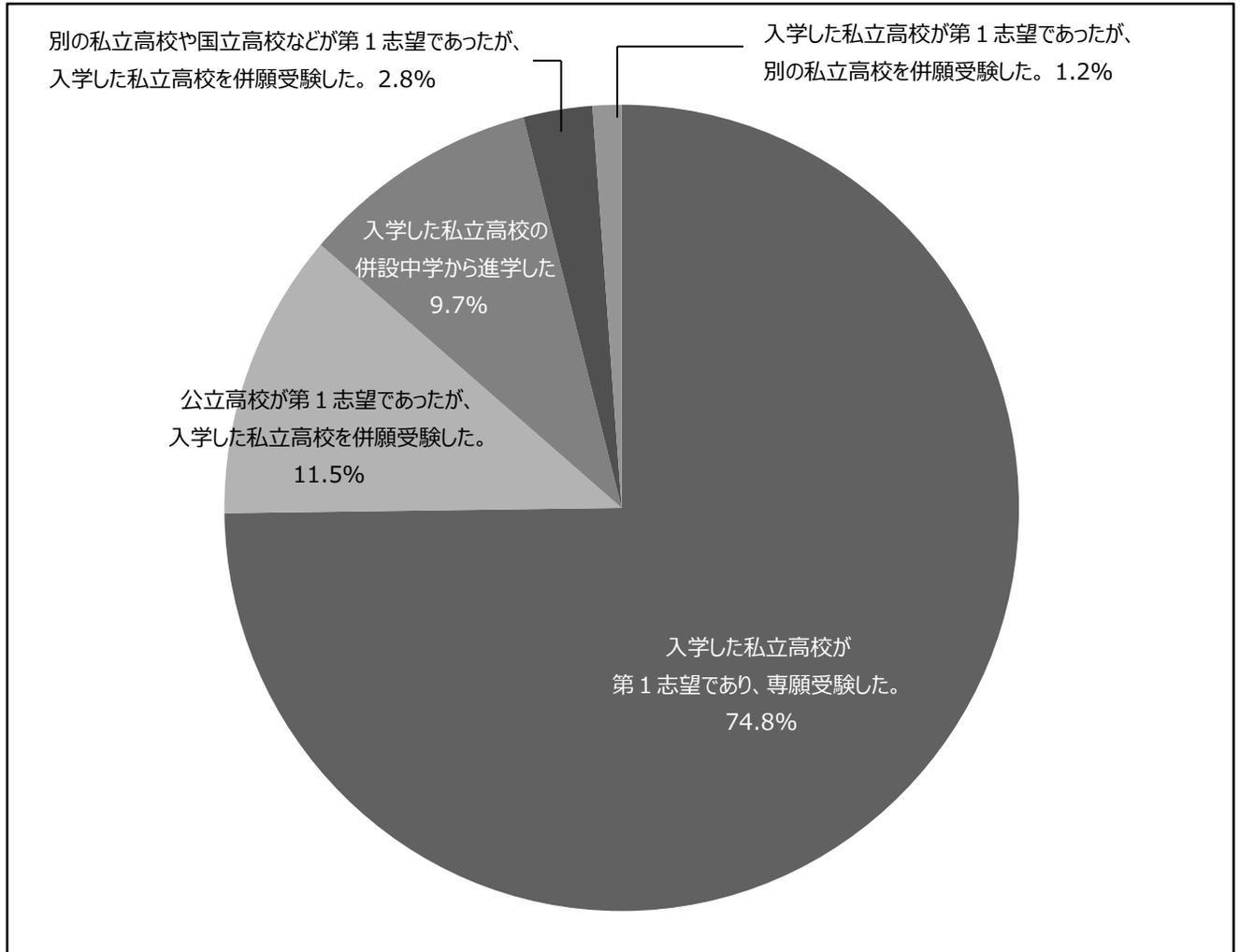
問3 入学された私立高校に満足していますか。



○ 入学した私立高校に対する満足度は、「学校生活全体を通して満足している」という肯定的な意見が90.7%となっている。

- 入学した私立高校に対する満足度について聞いたところ、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた肯定的な意見としては、「学校生活全体を通して」では90.7%（R6:87.3%、R5:86.9%）と高い割合を示し、「特色ある教育活動に関して（89.0%）」（R6:76.2%、R5:86.0%）、「学校行事に関して（88.9%）」（R6:80.8%、R5:84.8%）、「（学校からの）情報提供に関して（87.2%）」（R6:80.6%、R5:項目なし）、「進路指導面に関して（86.8%）」（R6:81.6%、R5:84.5%）、「学習指導面に関して（86.0%）」（R6:84.4%、R5:84.4%）、「施設・設備面に関して（85.9%）」（R6:78.1%、R5:82.3%）、「教員に関して（85.1%）」（R6:82.3%、R5:82.4%）、「生徒指導面に関して（84.7%）」（R6:79.9%、R5:81.1%）、「部活動に関して（80.1%）」（R6:73.6%、R5:78.7%）と全体として8割を超える結果となった。

問4 高校の受験時における志望（受験）状況について、あてはまるものを選択してください。

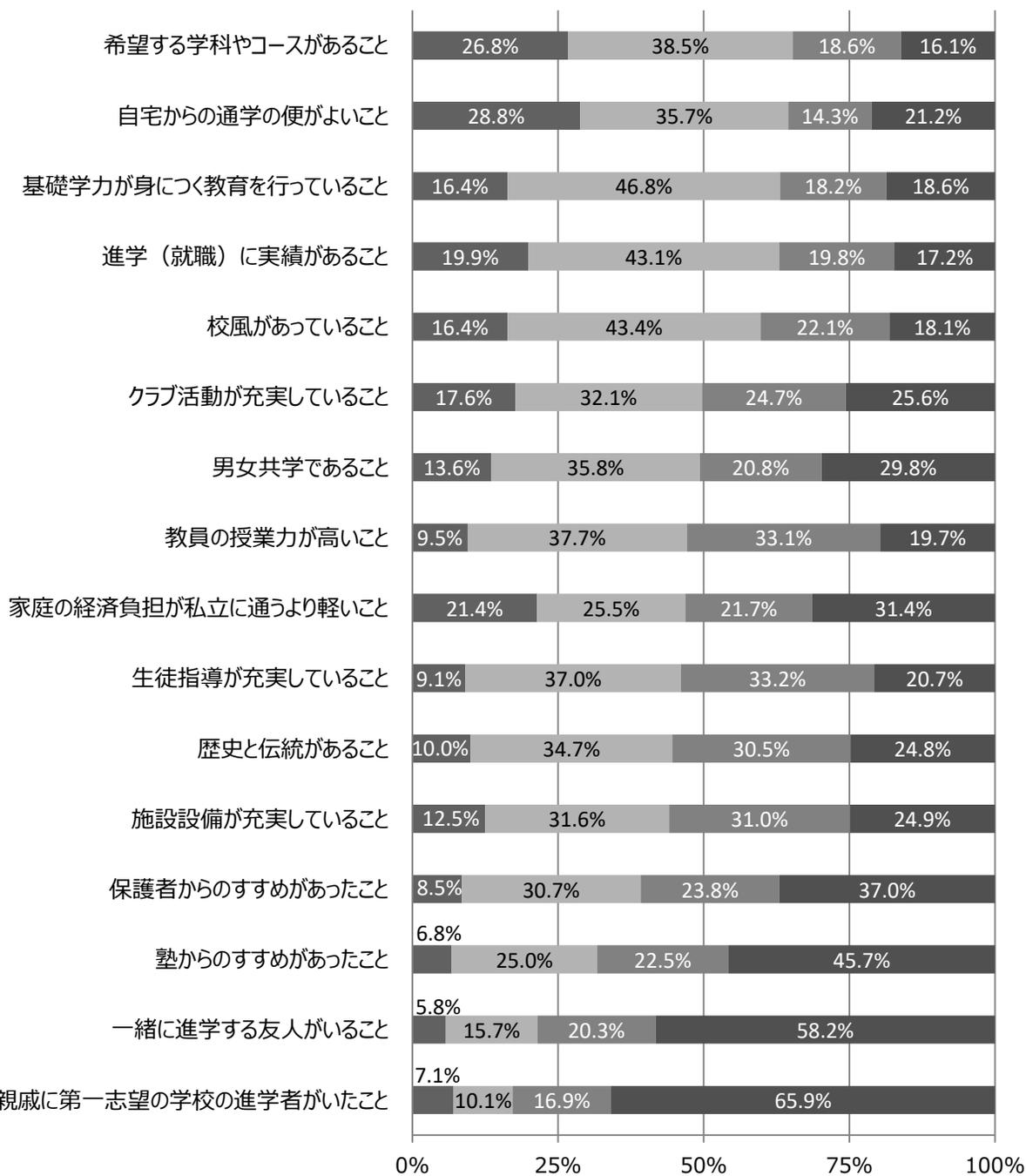


○ 「入学した私立高校が第1志望であり、専願受験した。」は74.8%であり7割を超えた。

- ・ 高校等の受験時における志望（受験）状況について聞いたところ、「入学した私立高校が第1志望であり、専願受験した。（74.8%）」（R6:81.0%、R5:67.5%）が最も多く、次いで、「公立高校が第一志望であったが、入学した私立高校を併願受験した。（11.5%）」（R6:13.7%、R5:27.4%）という結果となった。

問5 第一志望として公立高校を選ばれた理由についてお聞きします。

■ 決定的な理由になった ■ ある程度理由になった ■ あまり理由にならなかった ■ まったく理由にならなかった

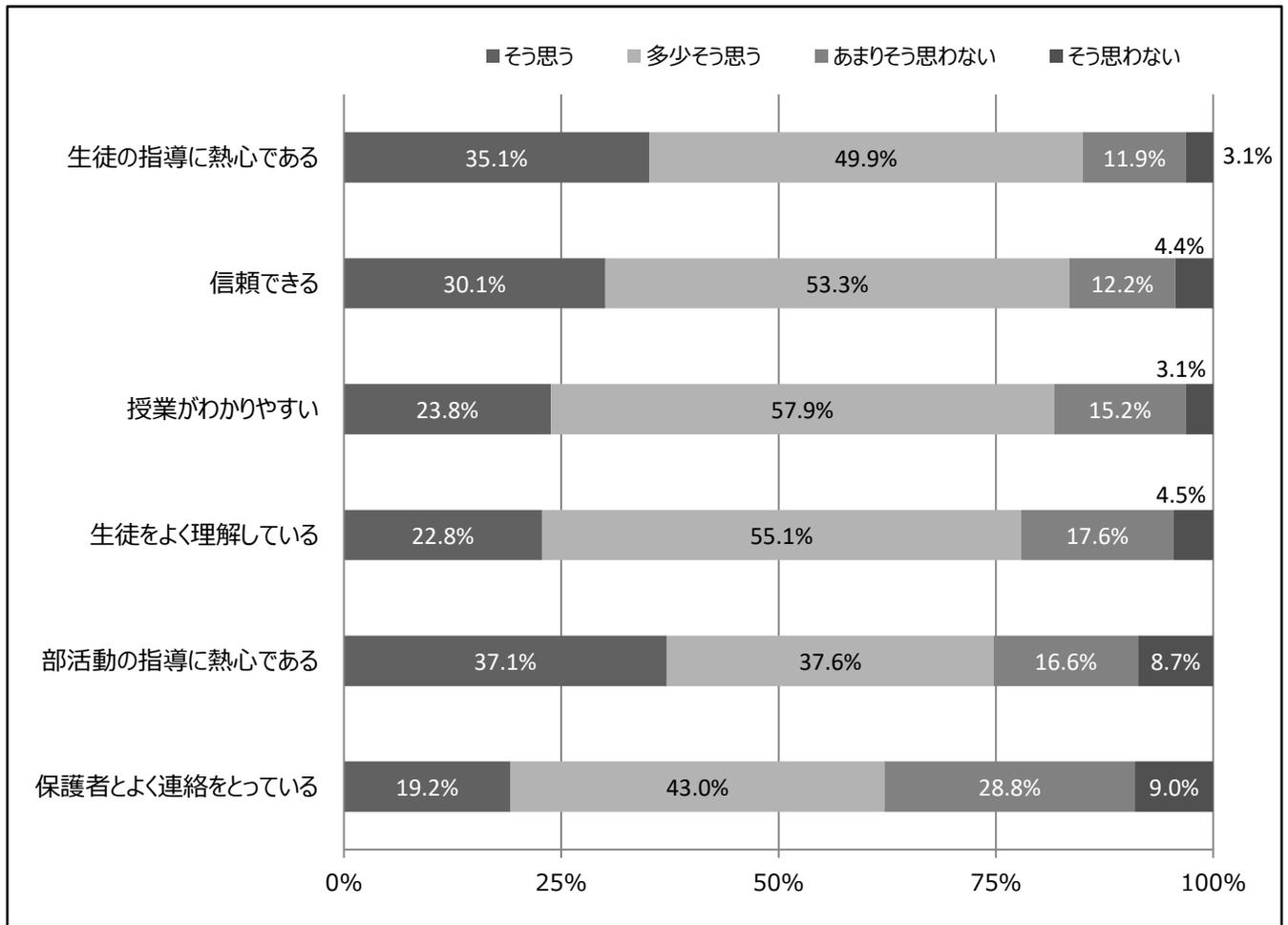


○ 公立高校を第一志望に選んだ理由は、「希望する学科やコースがあること」が65.3%と最も多い。

※令和6年度調査：「家庭の経済的負担が私立に通うより軽いこと（79.9%）」が最も多かった。

- 公立高校を第一志望に選んだ理由について項目を示して聞いたところ、「決定的な理由になった」と「ある程度理由になった」を合わせた肯定的な意見としては、「希望する学科やコースがあること（65.3%）」（R6:73.0%、R5:67.3%）が最も多く、次いで「自宅からの通学の便がよいこと（64.5%）」（R6:76.9%、R5:78.2%）、「基礎学力が身につく教育を行っていること（63.2%）」（R6:73.0%、R5:71.8%）の順となっている。
- 「あまり理由にならなかった」と「まったく理由にならなかった」を合わせた否定的な意見としては、「家族・親戚に第一志望の学校の進学者がいたこと（82.8%）」（R6:80.3%、R5:81.4%）が最も多く、次いで「一緒に進学する友人がいること（78.5%）」（R6:69.1%、R5:70.0%）となっている。

問6 学校の先生について、お聞きします。



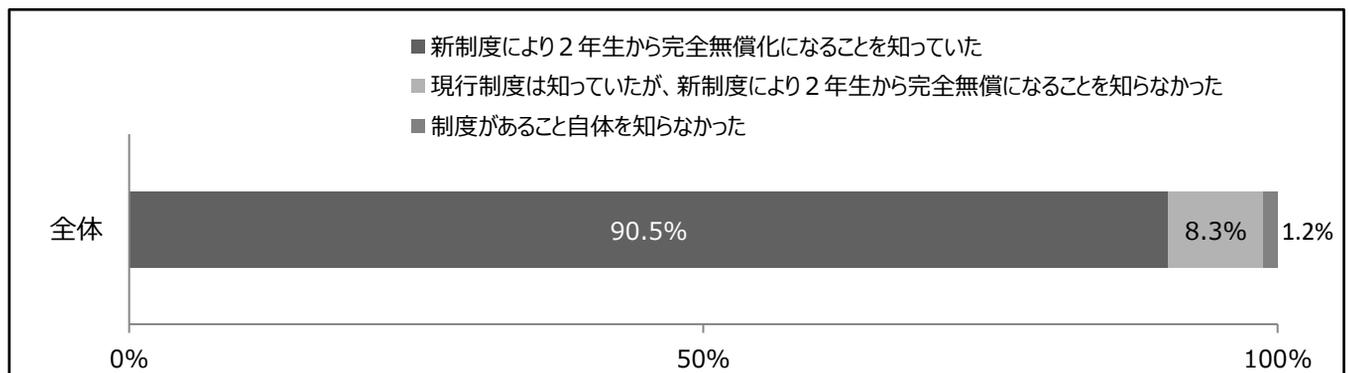
○ 学校の先生については、「生徒の指導に熱心である」が85.0%と最も多くなっている。

※令和6年度調査：「信頼できる（85.7%）」が最も多かった。

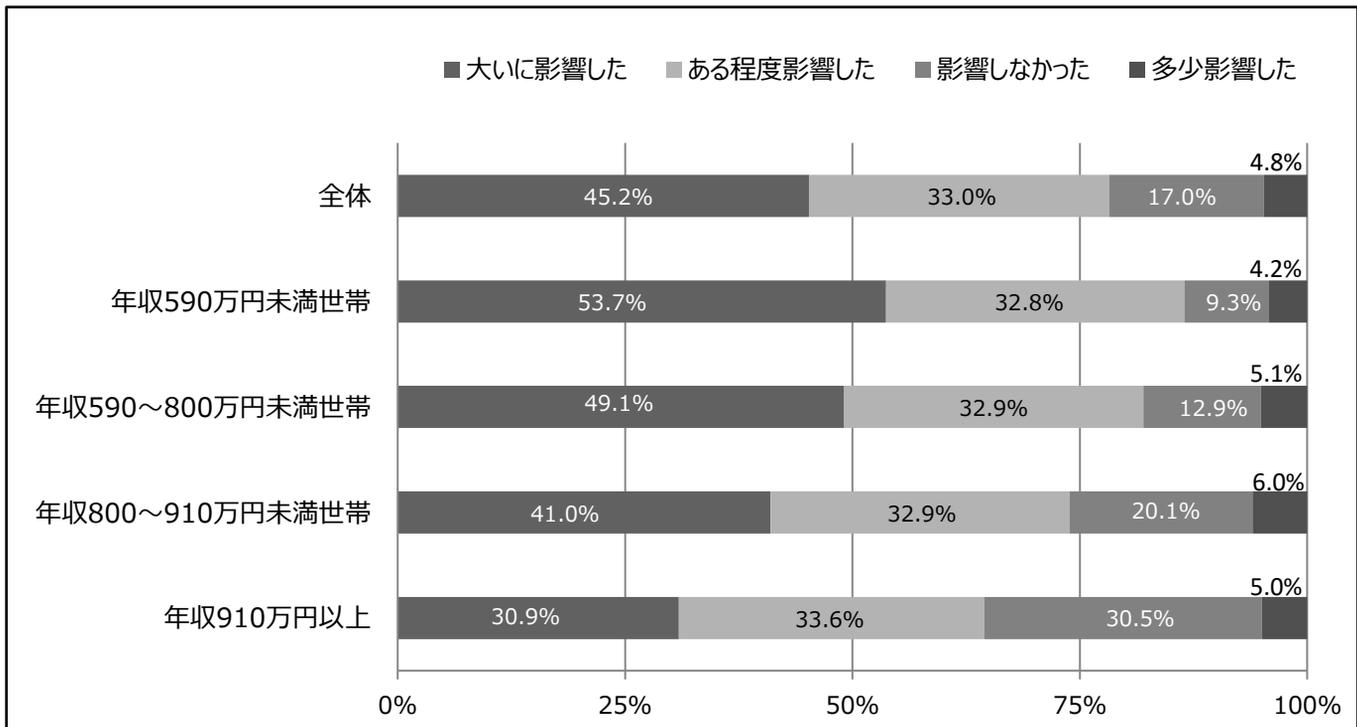
- ・ 学校の先生について聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見としては、「生徒の指導に熱心である（85.0%）」（R6:85.3%、R5:84.7%）が最も多く、次いで「信頼できる（83.4%）」（R6:85.7%、R5:81.4%）、「授業がわかりやすい（81.8%）」（R6:82.7%、R5:81.5%）の順で多くそれぞれ8割を超えている。
- ・ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見として最も多いものは、「保護者とよく連絡をとっている」（37.8%）」（R6:36.5%、R5:38.7%）であった。

問7 お子様を私立高校に通わせるにあたって、

私立高校等授業料無償化制度（授業料支援補助金）のことを知っていましたか。



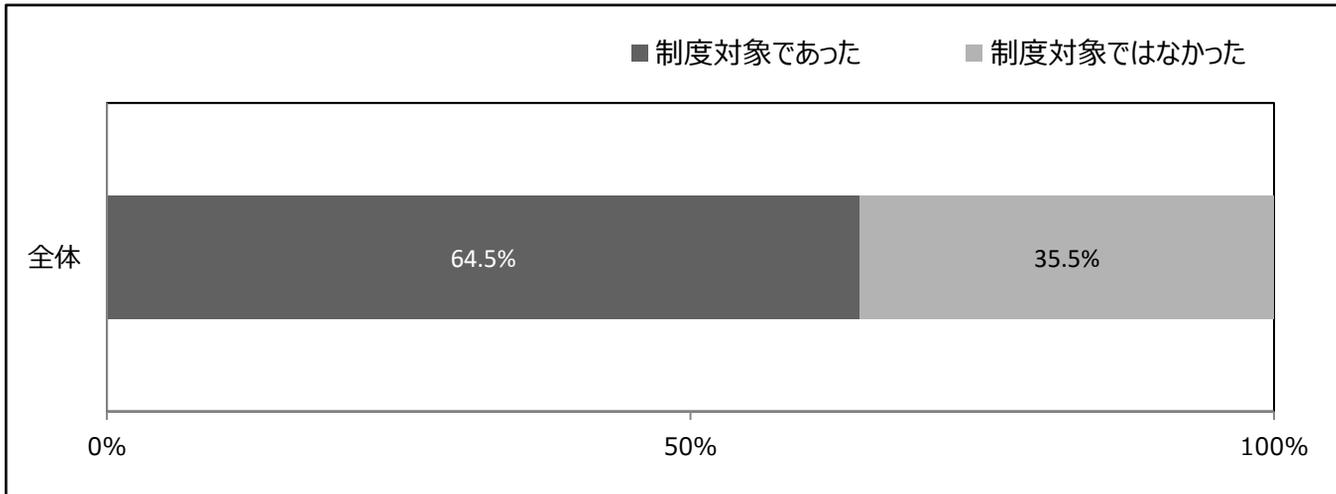
問8 授業料無償化制度（授業料支援補助金）が、私立高校への進学にどの程度影響しましたか。



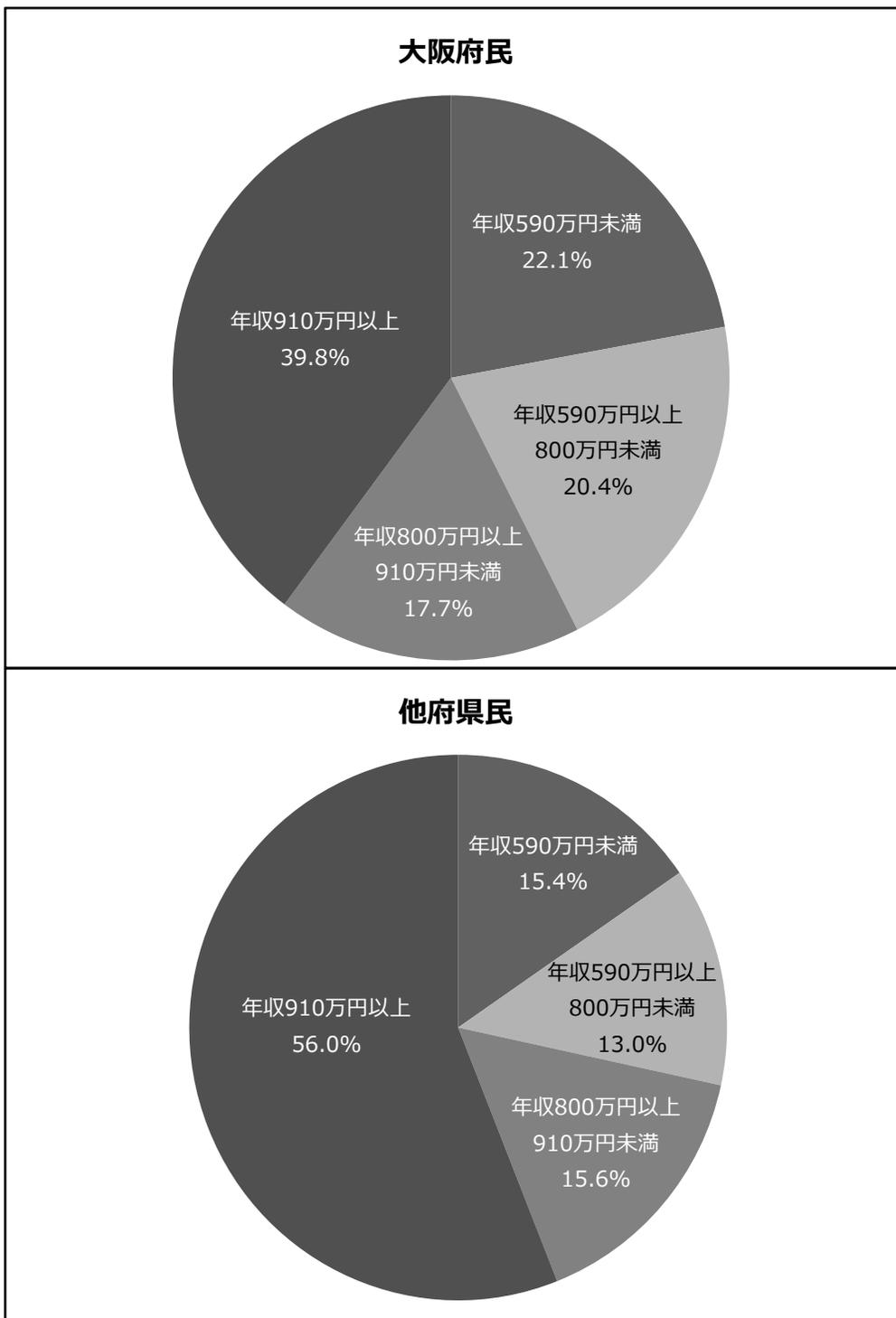
○ 「授業料無償化制度が、私立高校への進学に影響した」とする割合は、全体で78.2%となっている。
 ※令和6年度調査：81.3%

- ・ 授業料無償化制度が私立高校への進学にどの程度影響したかを聞いたところ、全体では、「大いに影響した」又は「ある程度影響した」とした割合の合計は78.2%（R6:81.3%、R5:73.5%）であった。
- ・ これを世帯の年収で区分して見た場合、年収590万円未満世帯では86.5%（R6:91.0%、R5:92.3%）が影響したと回答している。また年収590～800万円未満世帯では82.0%（R6:84.0%、R5:78.6%）、年収800～910万円未満世帯では73.9%（R6:77.0%、R5:51.0%）、年収910万円以上世帯では64.5%（R6:61.7%）となっており、世帯年収が低くなるほど、「影響した」と回答する割合が高くなっている。

問9 あなたは授業料無償化制度（授業料支援補助金）の対象でしたか。



問10 あなたの世帯のおおよその年収をお尋ねします。



- 世帯の年収について聞いたところ、大阪府に在住している保護者については、590万円未満の割合は22.1%（R6:44.8%、R5:37.0%）、800万円未満の割合は42.5%（R6:69.3%、R5:57.8%）、910万円未満の割合は60.2%（R6:77.7%、R5:72.9%）、910万円以上の割合は39.8%（R6:22.3%、R5:27.1%）となっている。

- なお、他府県から大阪の私立高校に通っている世帯の年収は、590万円未満の割合は15.4%（R6:35.0%、R5:31.7%）、800万円未満の割合は28.4%（R6:57.2%、R5:49.3%）、910万円未満の割合は44.0%（R6:68.6%、R5:62.6%）、910万円以上の割合は56.0%（R6:31.4%、R5:37.4%）となっている。